

2021年11月の星空

中旬 21時頃

佐賀市
星空
がくしゅうかん

★ 今月の天文現象とこよみ

- 3日 文化の日
- 5日 天王星が衝
- 5日 新月
- 7日 立冬（りっとう）
- 11日 上弦の月
- 19日 全国で部分月食
- 22日 小雪（しょうせつ）
- 23日 勤労感謝の日
- 27日 下弦の月

部分月食（食の最大 18時03分）

全国で満月が地球の影に入って暗くなる月食が見られます。ほとんど皆既月食に近い大きな部分月食（食分0.98）です。

木星

やぎ座で宵の明星（金星）と同じくらいの明るさで輝きます。望遠鏡では、4つのガリレオ衛星や縞模様を観察できます。

秋の四辺形

2～3等星4つでできる四角形で、夏の三大角ほどは明るくありませんが、まわりに明るい星が少ないので、意外と目立ちます。秋の星座を見つける目印になります。

アンドロメダ座大銀河（M31）

天の川銀河の外側、230万光年彼方にある大銀河です。望遠鏡を使っても、ぼんやりと雲のようにしか見えませんが、実際には数千億個の星の大集団です。

すばる

全天でももっともよく知られた星の集団です。視力の良い人は、肉眼でも6～7個の星の集団と分かります。双眼鏡、望遠鏡ではさらに沢山の星が見られる、とても美しい星団です。

秋も深まるこの季節、今年は日没直後の南西の空に度の星よりも明るく金星（宵の明星）が目立ちます。その左手側にはこれも明るい木星と土星が見られます。観察の好期はまもなく終わります。

星座では秋の四辺形を探してみましよう。ほぼ頭の真上に4つの星が長方形に並んでいます。この秋の四辺形はペガサス座の胴体部分にあたるため、ペガサスの四辺形ともいわれます。北の空高くには、Wの形をしたカシオペヤ座があります。カシオペヤは古代神話の王妃が椅子に座った姿で描かれています。秋の四辺形の西側の辺を南へのぼした先、ポツンと輝く一等星が見つかります。これは、みなみのうお座のフォーマルハウトです。日本では「みなみのひとつ星」とも呼ばれます。

- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星

